モモの下草管理による土着天敵類の定着温存技術

福島県農業総合センター　果樹研究所病害虫科科

1　部門名

果樹ーモモー病害虫防除

2　担当者

瀧田克典・星博綱・佐々木正剛

3　要旨

アップルミント（シソ科）をモモの下草として植栽することで、土着天敵である寄生蜂類やカブリダニ類が定着温存できることが判明した。

(1)アップルミントを植栽することで寄生蜂類が多く捕獲され（図１）、その優占種は*Chrysocharis　sp.*であった（図２）。

(2)ハダニ類の発生の後にカブリダニ類が発生しており、土着天敵としてハダニ類の発生を抑制することが示唆された（図３）。

(3)アップルミントにおけるカブリダニ類の優占種はミヤコカブリダニであった（図４）。

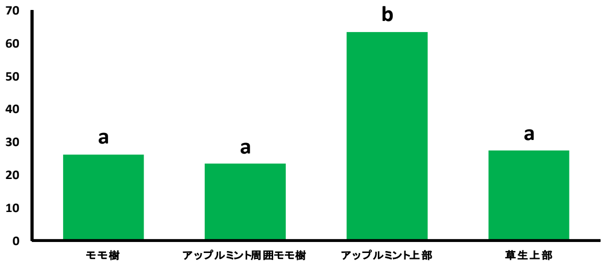

図１　黄色粘着板トラップを用いて捕獲した寄生蜂類の捕獲数（2011）　異符号間で有意差あり（危険率5%　Tukey法）

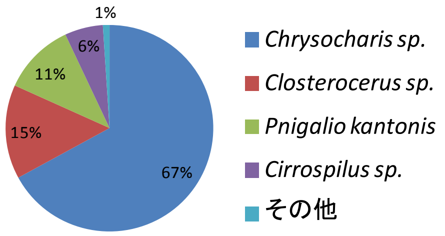

図２　モモ葉に寄生したモモハモグリガから羽化した寄生蜂類の種類と割合（2011）

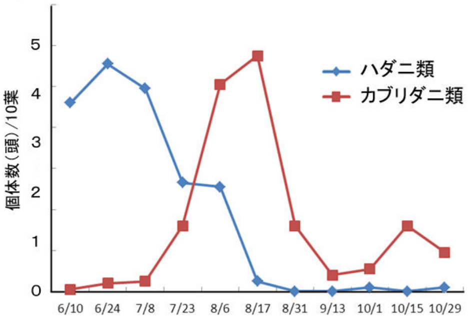

図３　アップルミントのハダニ類とカブリダニ類の発生推移（2010）

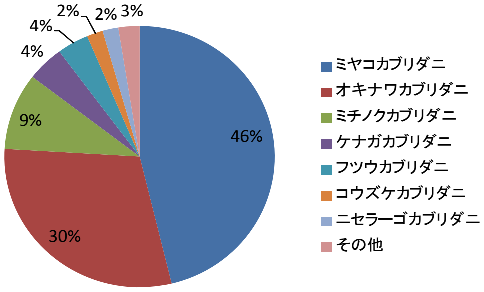

図４　アップルミントから捕獲したカブリダニ類の種類と割合(2010)

4　成果を得た課題名

(1)　研究期間　平成21年度～23年度

(2)　研究課題名　モモの下草管理による土着天敵類の定着・温存技術開発

(3)　参考となる成果の区分　終了参考

5　主な参考文献・資料

(1)　平成21年～23年度 福島県農業総合センター試験成績概要（2009～2011）